



**かわさき水ビジネスネットワーク2019年度総会**

# **東南アジアへの貿易投資促進に向けた 日本アセアンセンターの取組み**

**2019年7月19日**

**国際機関 日本アセアンセンター  
調査・政策分析クラスター 齋藤美穂子**

# 目次

1. ASEAN概要
2. 日ASEAN間の貿易・投資の状況(水ビジネスの視点から)
3. 日本アセアンセンターについて



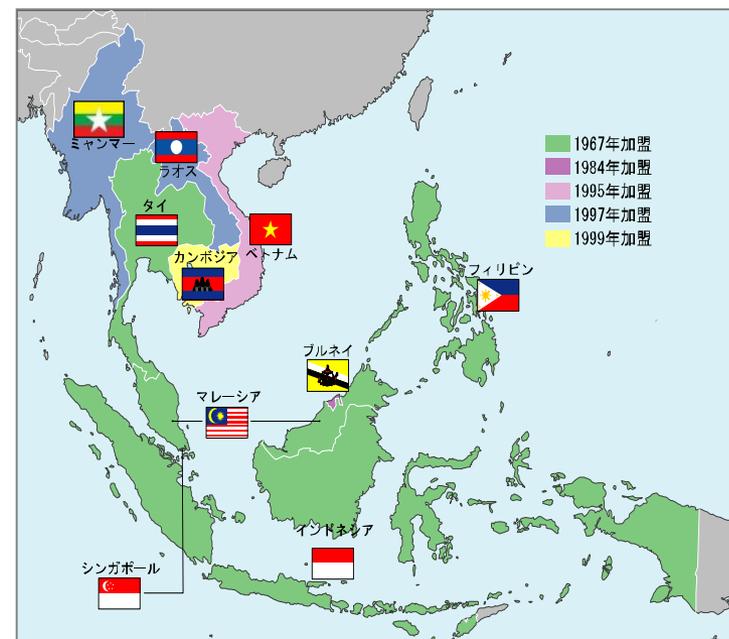
# 1. ASEAN概要



# ASEANとは？

## 東南アジア諸国連合：

- 東南アジア地域の10カ国が加盟する地域協力機構
- 1967年に「ASEAN設立宣言（通称：バンコク宣言）」に基き、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国によって設立。



2017年に設立50周年

# ASEANの設立目的

## (バンコク宣言)

1. 東南アジア地域の経済成長、社会的進歩、文化的発展の促進。
2. 地域内の平和と安定の促進。
3. 経済・社会・文化・技術・科学及び行政の各分野における共通の諸問題に対する相互援助、相互協力の推進。
4. 教育、専門職、技術及び行政の各分野における訓練研究施設の面での協力促進。
5. 農業、工業の一層の活用、貿易の拡大、運輸通信施設の整備、国民の生活水準向上のための協力促進。
6. 東南アジア研究の促進。
7. 同様の目的を持つ既存の国際機構及び地域的機構と協力関係を保持、一層緊密な協力のための方策探求。



ASEAN設立宣言(バンコク宣言)調印式

(写真:ASEAN事務局)

# ASEAN概要

## ◆ 相違点 ◆

人口、面積、宗教、民族、言語  
政治体制、経済規模、産業 等々

## ◆ 類似点 ◆

- 多様性
- 植民地支配の歴史

ASEAN地域：

日本の**12倍の面積**に

**6億5千万人以上**の人々

**個性豊かな10カ国**から成る地域



	2018年 人口(推定値)	面積(km <sup>2</sup> )
 ブルネイ	434,000	5,765
 カンボジア	16,253,000	181,035
 インドネシア	265,316,000	1,913,579
 ラオス	6,777,000	236,800
 マレーシア	32,474,000	331,388
 ミャンマー	52,832,000	676,576
 フィリピン	107,411,000	300,000
 シンガポール	5,661,000	719
 タイ	69,182,000	513,120
 ベトナム	94,575,000	331,231

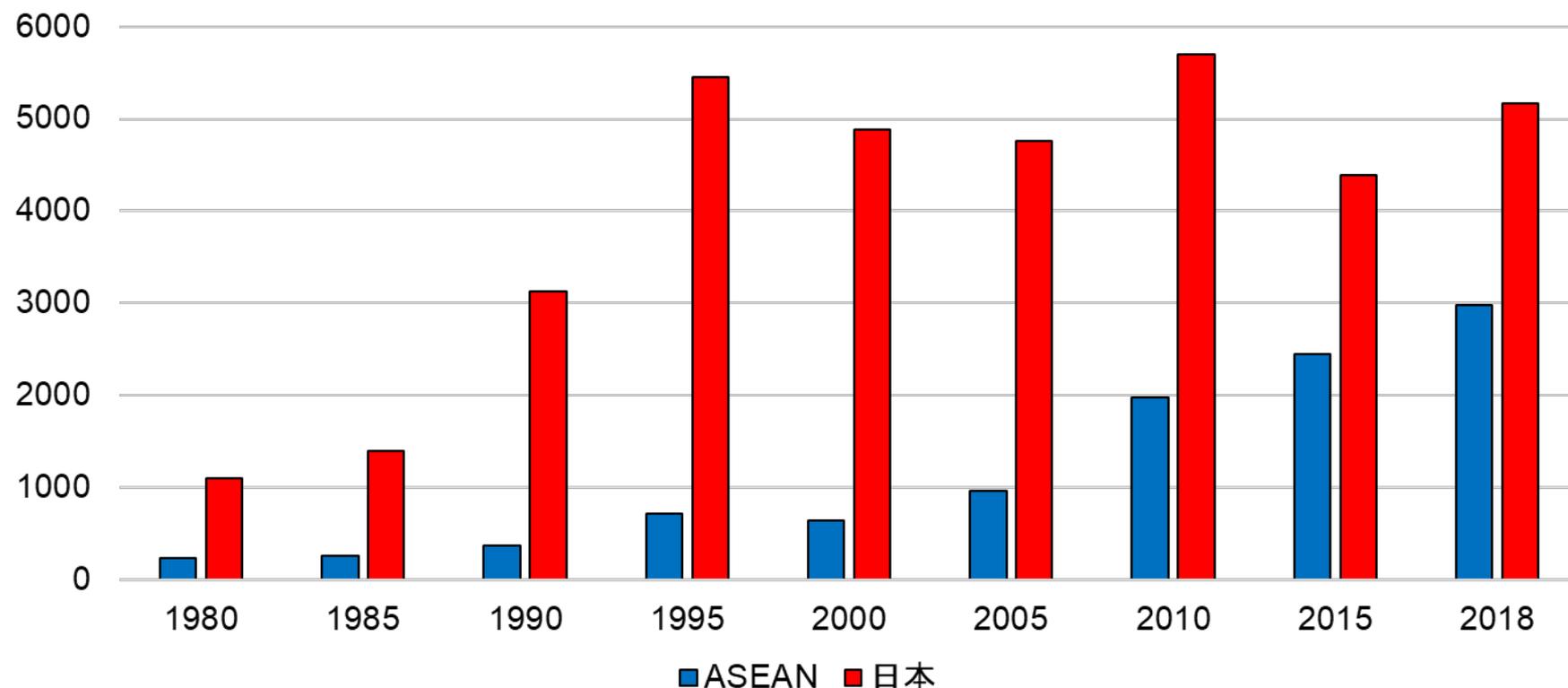
	宗教	民族
 ブルネイ	イスラム教(約80%)、キリスト教、仏教、その他	マレー系、中華系、その他
 カンボジア	仏教(約95%)、イスラム教	カンボジア人/クメール人
 インドネシア	イスラム教(約90%)、 キリスト教、ヒンズー教、仏教、儒教、その他	大半がマレー系 (ジャワ、スンダ等約300種族)
 ラオス	仏教(約70%)、キリスト教徒	ラオ族(全人口の約半数以上) を含む計49民族
 マレーシア	イスラム教(61%)、仏教、キリスト教、 ヒンドゥー教、儒教・道教、その他	マレー系、中国系、インド系
 ミャンマー	仏教(約90%)、 キリスト教、イスラム教	ビルマ族、 その他多くの少数民族
 フィリピン	カトリック(約80%)、 その他キリスト教(約10%)、イスラム教	マレー系が主体、中国系、スペ イン系及びこれらとの混血並び に少数民族がいる
 シンガポール	仏教(約30%)、イスラム教(約15%)、 キリスト教(約10%)、道教、ヒンズー教	中華系、マレー系、インド系、 その他
 タイ	仏教(約95%)、イスラム教	大多数がタイ族。その他華僑、 マレー系、山岳少数民族等
 ベトナム	仏教(80%)、カトリック、その他	キン族/越人、 他に53の少数民族

## ASEAN概要

	言語	政治体制	通貨	一人当たりGDP 2018年 (推定値、米ドル)
 ブルネイ	マレー語、英語	立憲君主制	ブルネイ・ドル(B\$)	33,233
 カンボジア	クメール語	立憲君主制	リエル(Riel)	1,499
 インドネシア	インドネシア語	共和制	ルピア(Rupiah)	4,052
 ラオス	ラオス語	人民民主共和制	キップ(Kip)	2,706
 マレーシア	マレー語、中国語、 タミール語、英語	立憲君主制 (議会制民主主義)	リンギット(RM)	11,237
 ミャンマー	ミャンマー語	大統領制、共和制	チャット(Kyat)	1,338
 フィリピン	フィリピン語、英語	立憲共和制	ペソ(Peso)	3,095
 シンガポール	マレー語、英語、 中国語、 タミール語	立憲共和制	シンガポール・ドル(S\$)	61,767
 タイ	タイ語	立憲君主制	バーツ(Baht)	6,992
 ベトナム	ベトナム語	社会主義共和制	ドン(Dong)	2,546

# 国内総生産(GDP)

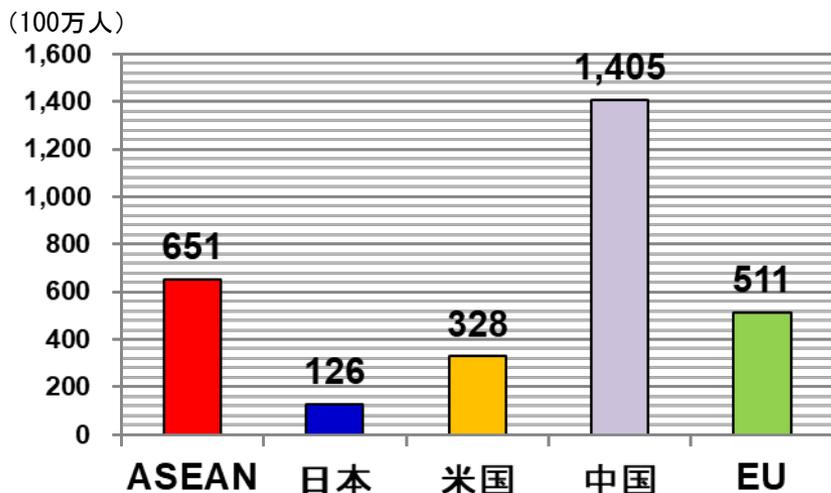
10億米ドル



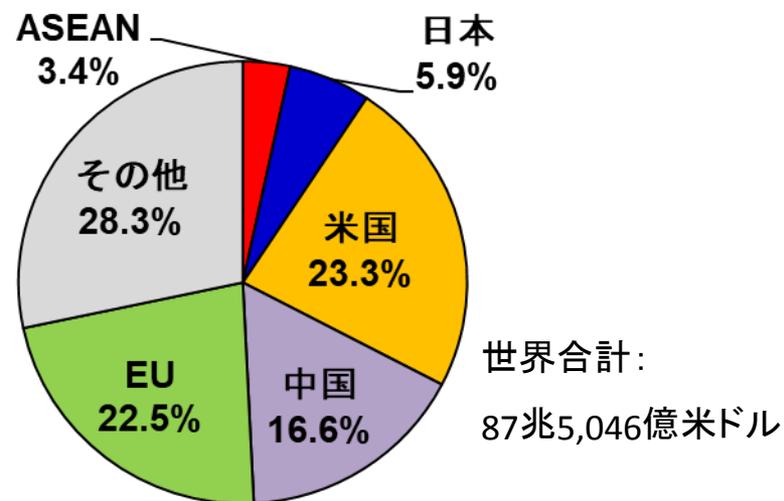
1980年代後半、日本の10分の1であったASEAN全10か国のGDPは、2018年には3兆米ドル、日本のGDPの約60%にまで拡大

# 世界の中のASEAN

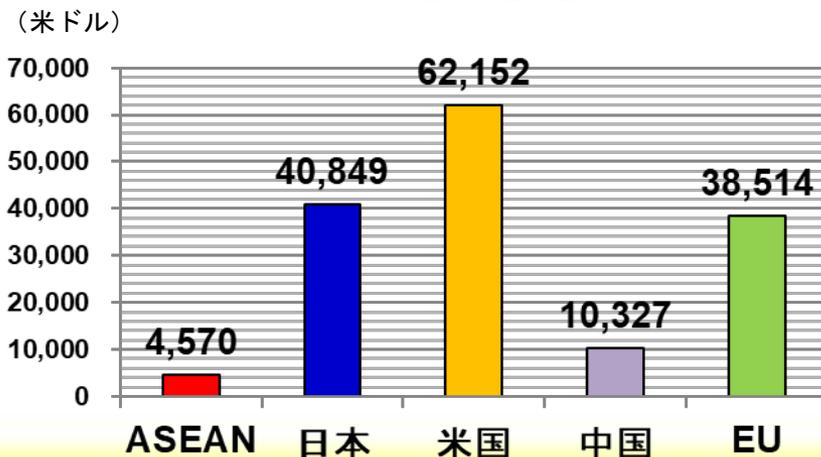
## ◆人口(2018年推定値)◆



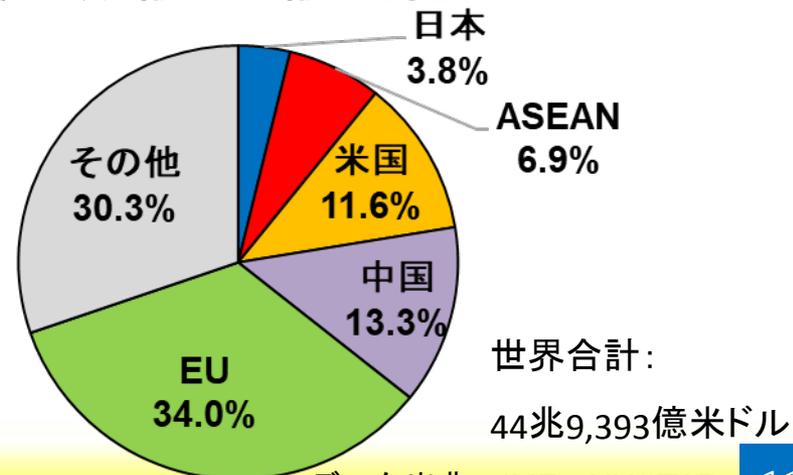
## ◆名目GDP(2018年推定値)◆



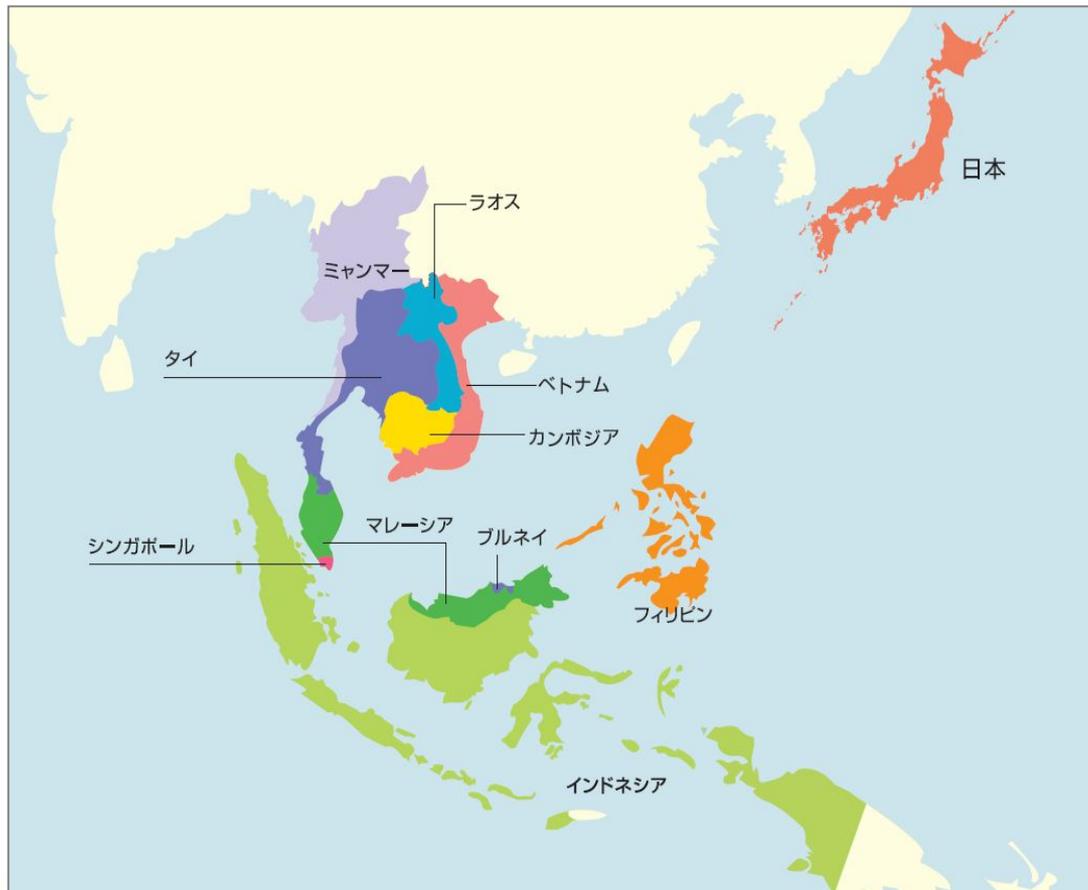
## ◆名目一人当たりGDP(2018年推定値)◆



## ◆貿易額(輸出+輸入2017年)◆



## 2. 日ASEAN間の貿易・投資の状況 (水ビジネスの視点から)



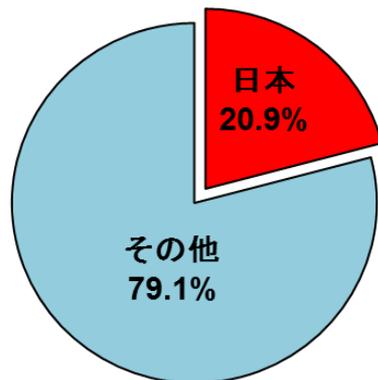
# 日ASEAN関係：輸入

日ASEAN関係

## ASEANにおける日本からの輸入

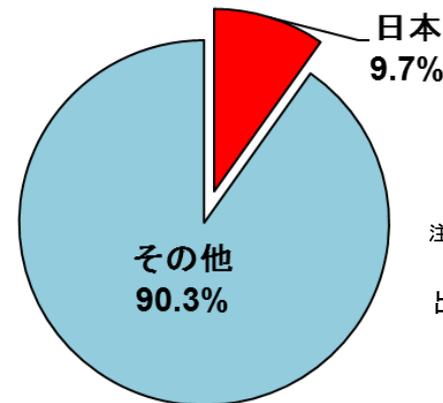
1996年

ASEANの輸入総額: 3,506億米ドル



2016年

ASEANの輸入総額: 1兆859億米ドル



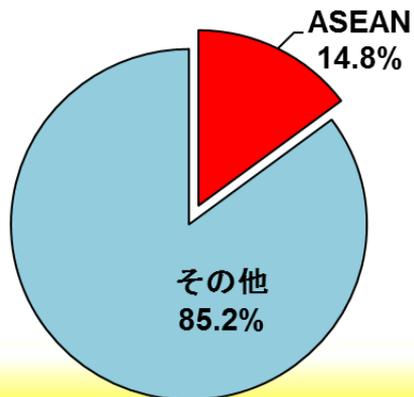
注: 1996年のデータはカンボジア、ラオス、ミャンマー及びベトナムを除く。

出典: ASEAN事務局

## 日本におけるASEANからの輸入

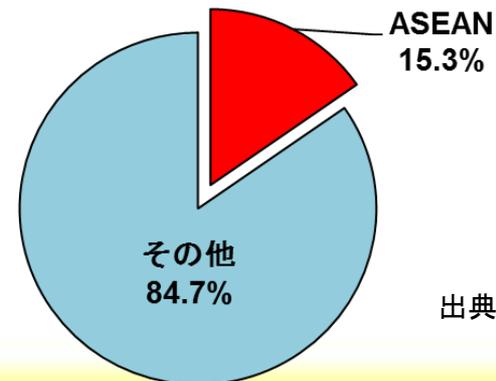
1997年

日本の輸入総額: 3,385億米ドル



2017年

日本の輸入総額: 6,720億米ドル

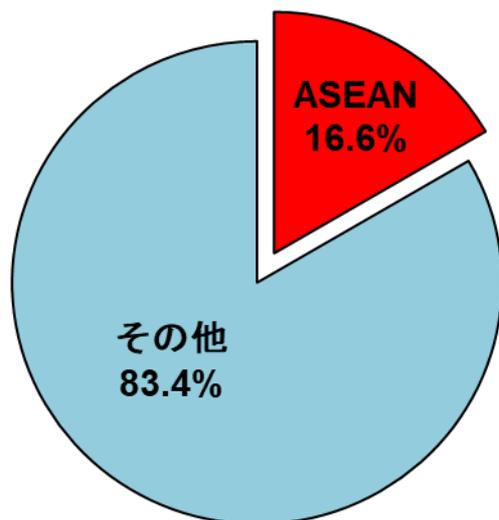


出典: 財務省

# 日本からASEANへの輸出

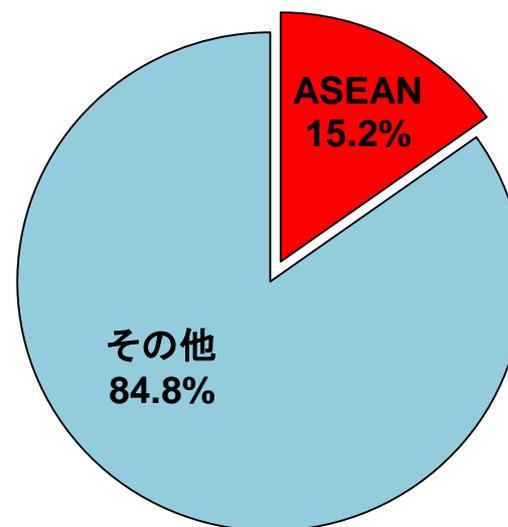
**1997年**

日本の輸出総額: 4,210億米ドル



**2017年**

日本の輸出総額: 6,980億米ドル



出典: 財務省

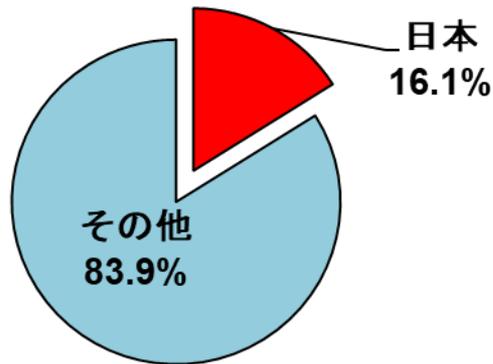
# 日ASEAN関係：投資

日ASEAN関係

## ASEANにおける日本からの対内直接投資

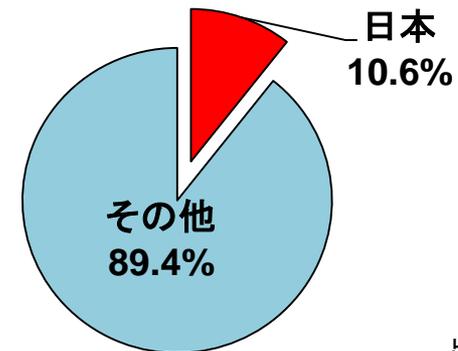
1995年-1997年

ASEANの対内直接投資総額(年平均): 335億米ドル



2015年-2017年

ASEANの対内直接投資総額(年平均): 1,272億米ドル

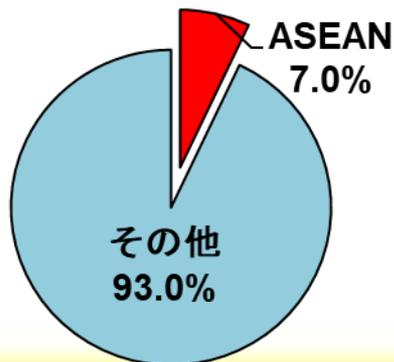


出典: ASEAN事務局

## 日本におけるASEANからの対内直接投資

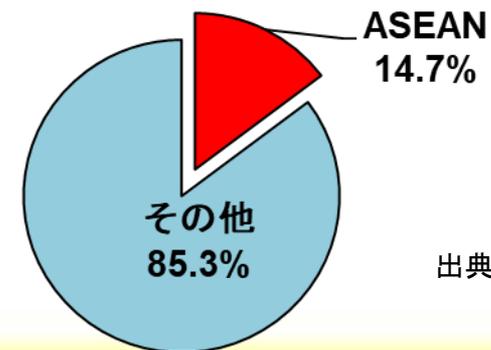
1995年-1997年

日本の対内直接投資総額(年平均): 11億米ドル



2015年-2017年

日本の対内直接投資総額(年平均): 211億米ドル

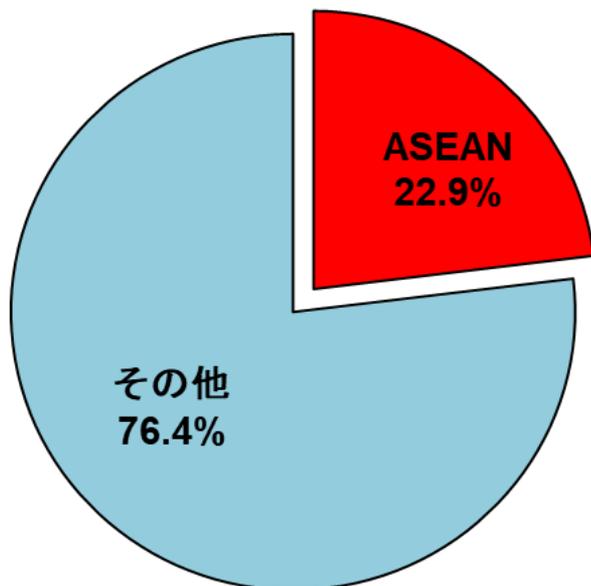


出典: 財務省、日本銀行、JETRO

# 日本からASEANへの投資

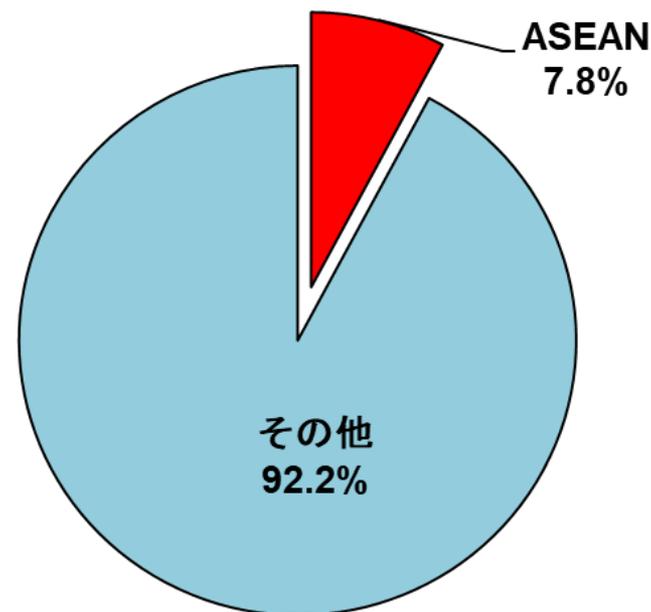
1995年-1997年

日本の対外直接投資総額(フロー、年平均):  
241億米ドル



2015年-2017年

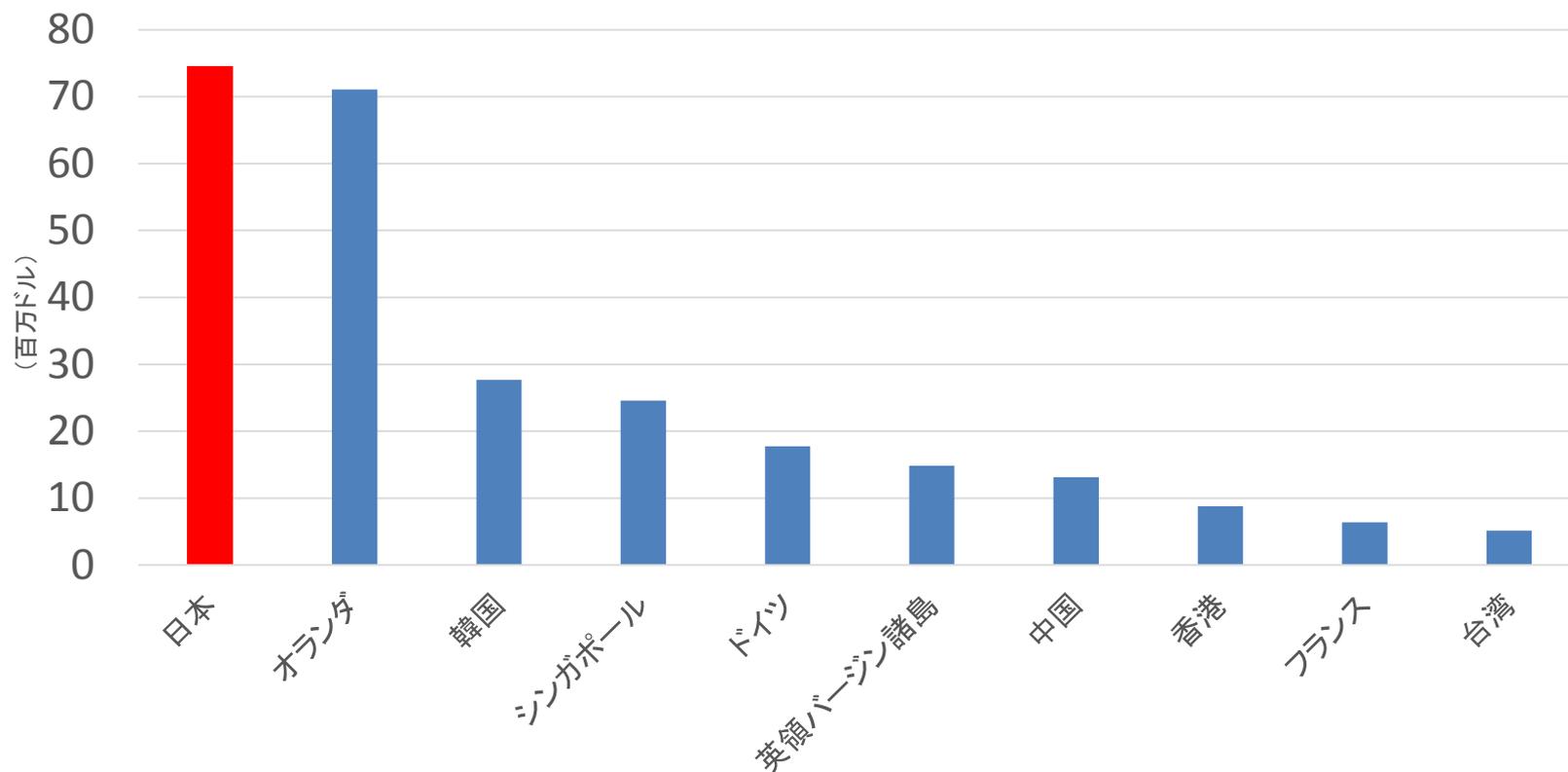
日本の対外直接投資総額(フロー、年平均):  
1,603億米ドル



出典: 財務省、日本銀行、JETRO

# 水分野でのASEANへの投資

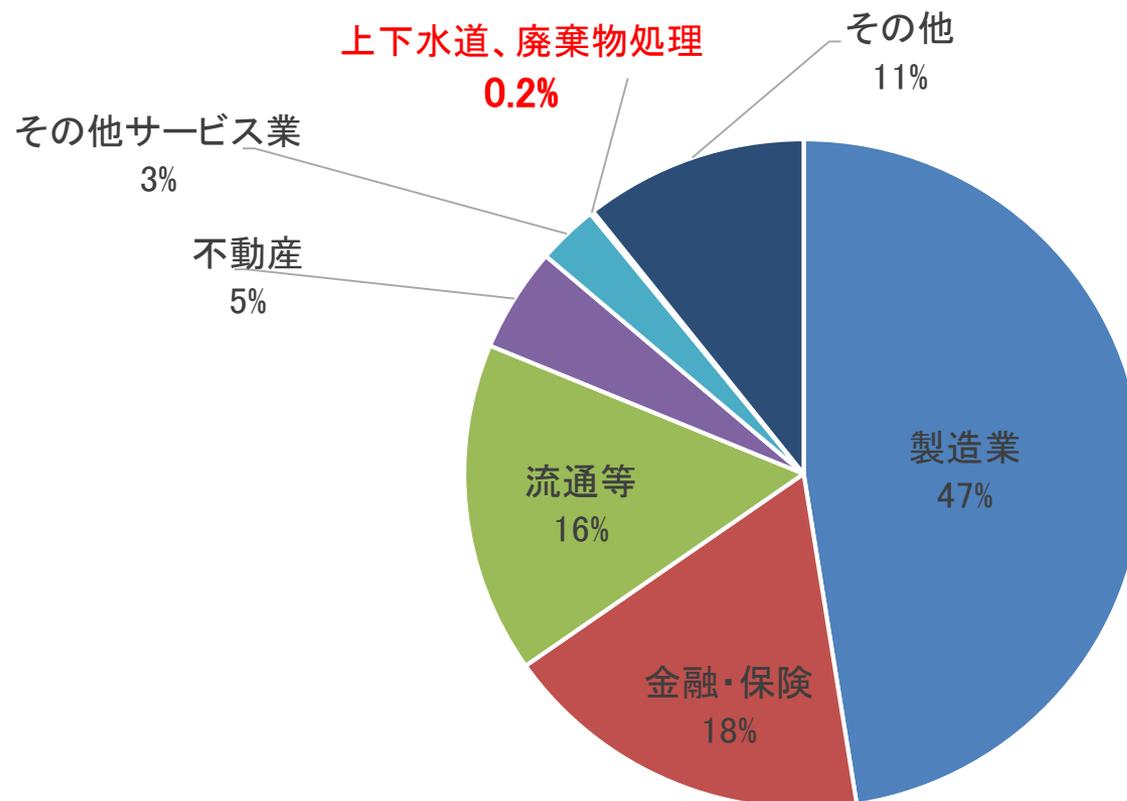
投資国・地域トップ10 (2012-2018平均)



- ASEANの上下水・廃棄物処理分野では、日本がNo.1投資国。

# 水分野でのASEANへの投資

日本からのASEANへの海外直接投資(フロー)、2018年



- 日本の対ASEAN投資に占める上下水・廃棄物処理分野の割合はわずか0.2%。

# 拡大する水分野のニーズと課題

- 人口増加と急激な都市化
  - ✓ ASEANでは2020年に都市部の人口が農村部を上回る見込み(国連推計)  
⇒都市部の下水処理は喫緊の課題。
- インフラ不足
  - ✓ シンガポールを除くほぼ全てのASEAN諸国において、都市部の下水処理率は低い。  
⇒インドネシア1%(2013)、フィリピン4%(2013)、ベトナム10%(2013)、タイ(バンコク)(2016)34% 等
- 地方政府の資金難・キャパシティ
  - ✓ 政策目標はあるものの、実行に至っていない  
⇒民間資金を活用するPPPの動きも活発化(フィリピン、タイ等)

⇒日本を含む海外からの投資への期待は大きい。

# 3. 日本アセアンセンターについて



**ASEAN-JAPAN  
CENTRE**

# 設立背景

## ◆ 設立経緯 ◆

1977年8月に福田赳夫総理(当時)とASEAN 諸国首脳が発表した共同声明を踏まえ、**1981年**5月25日に日本及びASEAN構成国との間で設立された国際機関。

## ◆ 加盟国 ◆

**日本及びASEAN10か国**  
(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)



日本アセアンセンター外観



総合インフォメーションコーナー

## ◆ 正式名称 ◆

東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター

## ◆ 設立目的 ◆

- (1) ASEAN諸国から日本への輸出の促進
- (2) 日本とASEAN諸国間の直接投資の促進
- (3) 日本とASEAN諸国間の観光の促進
- (4) 日本とASEAN諸国間の人物交流の拡充



日本とASEAN諸国間の  
経済パートナーシップの強化



センターの事業ベクトル図

## 活動の柱：貿易促進

- ◆ ASEAN製品の展示商談会の開催（2015年度迄）
- ◆ 各国への政策提言を念頭においた調査・研究
- ◆ ASEAN諸国の輸出能力強化のための人材育成事業
- ◆ ASEAN各国からの輸入に関する情報提供



ASEAN商品の展示商談会  
ASEANショーケース・マレーシア展



サービス貿易の促進：セミナー



輸出能力強化：カンボジアでの  
農業・食品関連製品ワークショップ

## 活動の柱：投資促進

- ◆ ハイレベル投資政策対話の実施
- ◆ ASEAN諸国地域における外国直接投資の動向に関する研究及び政策分析
- ◆ 日本の地方都市の投資家とのネットワーキング
- ◆ 投資ガイドなどの資料の発行・提供、ホームページによる情報提供



ASEAN諸国高官と日本の投資家との  
ハイレベル政策対話

『ASEAN投資報告書(AIR)』  
日本語訳版の発行



ホームページ：国別投資情報



トピック別セミナー：  
ASEANビジネスとリスク・マネジメント

## 貿易・投資促進プロジェクトの事例

## ◆ サービス貿易の促進

- ASEANにおけるサービス貿易の現状に関する調査研究。
- これまでに7つのサービス分野を実施(①プロフェッショナル・サービス、②研究・開発サービス、③電子通信サービス、④コンピューター関連サービス、⑤クーリエサービス、⑥運送サービス及び⑦観光サービス)
- 2019年～2020年にかけて、3つの社会サービスに関する調査を実施中(①教育サービス、②医療サービス、③環境サービス)
- 環境サービス貿易の一貫として、下水道処理・廃棄物処理に関するASEANのサービス貿易の状況について調査。ASEANの政府関係者との意見交換を実施し、今後の日本からの対ASEAN投資に資する政策提言を策定予定。



**ご清聴、有難うございました。**

日本アセアンセンター連絡先:

**[www.asean.or.jp](http://www.asean.or.jp)**

**Tel: +81-3-5401-8118**

**Fax: +81-3-5401-8003**

**E-mail: [toiawase\\_ga@asean.or.jp](mailto:toiawase_ga@asean.or.jp)**